



小池一

修郎先生の事件簿

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしょう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを発行し、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、伊良部さんが久しぶりに「312就労ビザ」で入国予定なのだけど、スカルノハツタ第3ターミナル(T3)での入国方法がわからないって言うんだ。

佐生修郎 あの伊良部君が2回目の赴任か。彼は図体がデカいから空港では目立ちちゃうよね。

鈴木 そう。だからちゃんとした手順を事前に教えてトラブルにならないようにしたいんだよ。

佐生 T3の入国審査カウ

ンターはただ広い所にスラックカウンターが並んでいて分かりにくいよね。

鈴木 一番左端のカウンターが「KITAS HOLD ER」と表示板があるから「ITAS & MERP (滞在許可&再入国許可)保持者」が再入国する時にそこに並ぶということは分かるんだけど、「312就労ビザ」を持った人はどこに行けばいいの？

佐生 実は、ことし1月時点の状況から今は変わっている。7月28日現在の状況では、並んでいるカウンターに向かって一番右端のカウンター二つが「312就労ビザ」としてのカウンターだ。なんと、そのカウンターには表示板がない。カウンター正面の白柱に赤布がぶら下がって

312就労ビザでの入国方法は!?

るのが目印だ。

鈴木 ええっ？ 赤布？

佐生 カウンターで証明写真を撮るための背景布として使っているのだ。

鈴木 ええっ？ 突っ込みどころ満載って感じがするけど今は突っ込まないでおこう。さあ、先を説明して。

鈴木 そのステッカーが正

指示される。10本指全部の指紋を採られる。次に赤布が背景になるように立ち位置を微調整される。そしてPCカメラで写真撮影だ。その後パスポートに「STAY PERMIT & RE-ENTRY」ステッカーが貼られて完了だ。

鈴木 そのステッカーが正

指紋を採られる。10本指全部の指紋を採られる。次に赤布が背景になるように立ち位置を微調整される。そしてPCカメラで写真撮影だ。その後パスポートに「STAY PERMIT & RE-ENTRY」ステッカーが貼られて完了だ。

鈴木 そのステッカーが正

「修郎先生の事件簿」は原則、毎月第1水曜に掲載します。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

× ×